



KIFA Plaza

創刊号

1988年11月15日発行

〈発行〉

鎌ヶ谷市国際交流協会

編集・広報部会

活動 報告

K.I.F.A. 発足180日の 歩み!

活動報告

K.I.F.A.発足180日の歩み

記念講演

民間交流のすすめ

特別寄稿

アイスランドという国

挨拶

創刊にあたって

会員紹介

談話室・SALOON

部会だより

部会長紹介、どうぞよろしく。

プラザ情報

Why don't you join us?

昭和63年春。市内のそこそこで梨の花がほころびはじめたころ、鎌ヶ谷市国際交流協会（略称K.I.F.A.）は誕生しました。この記念すべき日から約半年にわたるK.I.F.A.の歩みは、私たちのまち鎌ヶ谷が国際化へ向けて踏み出した大きな第一歩でもあります。ここでは、K.I.F.A.発足から180日間の活動の足跡をたどってみることにしました。



4月18日 K.I.F.A.発足（写真A）

鎌ヶ谷市国際交流協会設立総会を開催し、協会を設立。地域の国際化の鍵をにぎる、市民レベルの草の根交流推進に向け、活動を開始しました。

5月15日～ 会員募集スタート

市広報（5/15号）での呼びかけを皮切りに会員の募



集を開始。ポスターの掲示、出張受付、案内書の送付など、積極的な勧誘活動を行いました。

7月23日 臨時総会の開催（写真B）

会員募集以来、協会の趣旨に賛同し入会した会員が初めて一堂に会したのが、この日。席上、海外派遣者の紹介も行われました。

7月23日 発足記念講演会の開催（写真C）

成田ユネスコ協会の橋本妃寿奈さんが「民

間交流のすすめ」と題して講演。一般市民を含め約140名の参加者が、講師の有意義な体験談に耳を傾けました。

8月6日～31日 青少年及び青少年指導者の海外派遣等
上記期間中、市教育委員会との共催により、青少年5名、青少年指導者2名をヨーロッパ、アメリカ、カナダなどへ派遣。その体験を生かした今後の活躍が期待されます。

また、協会では、市内小中学校教職員海外派遣研修（8月22日～29日 中国へ）の参加者に対しても、一部助成を行いました。

9月3日～ 語学研修講座開講（写真D）

英語会話3講座、中国語会話2講座を開講。熱意ある150名近い受講生が真剣に授業に取り組んでいます。

10月14日現在会員数 375名

10月14日現在の会員数は、個人331名、法人・団体44。部会の活動も軌道に乗り、協会の一層の発展を願いつつ、より魅力あふれる事業をと、部会員一同頑張っています。



A circular portrait of a woman with short, dark, wavy hair. She is smiling and wearing a dark-colored top with large white polka dots. She is also wearing a necklace with a small pendant and large hoop earrings. The background is a textured, light-colored surface.

橋本 妊寿奈

ホームステイというのは国際交流の基本です。そこで

私たちもホームステイを受け入れる場合の食事にあたっては、私たちが普段食べているものを少しずつ出してみ

自治体名	交流団体名	発足年月日
船橋市	船橋市国際交流協会	62. 8. 25
成田市	成田市国際交流協会	61. 5. 16
柏市	柏市・トーランス市姉妹都市委員会	48. 7
	柏市・承德市友好都市交流委員会	58. 12. 1
市原市	市原市海外交流友の会	55. 8. 1

創刊にあたって



国際交流協会会長

佐々木 武二郎

鎌ケ谷市国際交流協会が設立発足以来、早や6カ月の月日が経過いたしました。この間、市長を始め市当局の

ご指導はもちろん、一般市民の深いご理解と暖かいご協力により、当初の予定をはるかに上回る会員のご参加を得、順調な第一歩を踏み出せたことを心より感謝いたします。

国際社会の平和と繁栄に貢献する責務と役割を果たす目的の中、鎌ケ谷市国際交流協会としても地域社会の中でお互いが多分野にわたった交流の輪を広め、地域の活性化、市民生活の向上に資することを目標に、交流活動が今後とも活発に推移していくことを期待します。

当協会は本年8月、活動のスタート事業として7名の青少年及び青少年指導者を海外派遣し、それぞれが貴重な体験をいたしました。又、9月より語学研修講座を開講し、多くの参加者を得ております。

今後とも会員の皆様のご要望に沿う形で成長、発展し、当初の目的を達成すべく努力いたしたいと思っております。皆様の心よりのご指導、ご協力をお願いいたします。



鎌ケ谷市長

国際交流協会名誉会長

皆川 圭一郎

鎌ケ谷市国際交流協会が今年4月に設立され、ここに会報創刊の運びとなりました。

日本は、経済的に飛躍発展を遂げるにつれ、「モノ」と「カネ」が国際交流の主流となっていた感がありました。

しかし、今日のような国際的な相互依存関係が深まってくると、生活習慣や価値観の違いから摩擦が生じ、経済面のみならず文化面への影響も危惧されております。

このため積極的に交流の場を広げて、異文化の相互理解と吸収に努めなければならない現状にもなっております。

殊に近年は海外からの入国者も毎年200万人を超え、海外渡航者も500万人を超えています。

鎌ケ谷市内でも、外国人居住者や海外渡航経験をもつ市民の方々が増えており、一過性のものではない、地域に根ざした市民レベルの交流を推進していくことが重要なこととなっています。

このような時期に設立された当協会は、会員数も380近くなり、海外派遣を行うなど、積極的な活動をしております。

今後、民間交流機関として文化・スポーツ等幅広い分

野にわたり交流を深め、国際理解、国際親善に貢献されますことを祈念いたします。



鎌ケ谷市議会議員

国際交流協会顧問

小金 勇作

鎌ケ谷市国際交流協会の会報紙創刊にあたり、心からお祝い申し上げます。

地域の国際化が求められている今日、市民主体の国際交流の推進を目指して本協会が設立されましたことは、まことに意義深いことであり、その後も極めて順調に発展を遂げられるなど、ご慶祝にたえません。

協会設立の趣旨にご賛同いただき入会されました会員各位には、厚くお礼申し上げます。

私も、協会顧問として最善の努力を傾注いたしてまいりたいと存じますので、皆様のご指導、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

協会のより一層の発展と会員各位のご活躍をお祈りいたします。

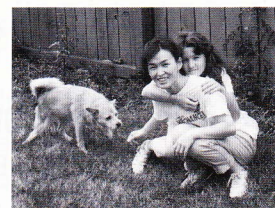
カナダからの手紙

石川 文代（前広報部会長・カナダ在住）

私の一家が成田を出発した日は雨がパラつく曇天の日でしたが、バンクーバーに到着すると目にしみるような太陽が待っていてくれました。

カナダ人というのは一般に動物好きな人が多く、私たちの入管手続きは犬を連れていたおかげで特別扱い、超特急で済ませてくれました。動物達を早くオリから解放してやってくれということなのです。

最初友人宅に居候。もつと長引くかと心配した家探しは3日で終わり、カナダに着いて1週間しないうちに現在の家に移り住むことができました。日本の家やアパートは建物、容れ物だけを他人に貸すのに対し、西洋社会では一般的にすぐに生活するための（特に食事ができるための）レンジ、オーブン、冷蔵庫、食器類などの道具が揃っている家を貸すのです。おまけに、敷金・礼金などの余分なお金は不必要、外国人だからと追いはられることもなく、引越しの何と気楽で簡単なことでしょう！



これから私は、こちらバンクーバーで地域社会にどっぷりとつかって、多種多様——ここでは文字通り多様な民族が雑居しています——な人々と

の交流をいたします。

今後も折りにふれてカナダ便りを送ります。お楽しみに。

特別
寄稿

アイスランドという国



国際交流協会副会長
日本旅行作家協会会員
東京成徳短期大学助教授

秋山 秀一

「アイスランド……？ 1年中氷に覆われていて、人は氷の家かなんかに住んでいるんじゃないの…」と言った人がある。シンクタンクに勤め、講演や執筆活動も盛んに行っている人である。

さらに、「そんな北の小さな国のことなんかどうでもいいじゃないか」とも言った。知らないこと、間違えたことを正当化しようとして「そんなことはどうでもいいじゃないか、たいした問題じゃないよ」といった言い方をする人はけっこういる。知ってる、知らないはたいした問題ではない。しかし、「そんなちっぽけな」とか、「そんなことなんか」という言い方をされると気にかかる。

アイスランドという国、日本人にとってはなじみの薄い北の国かもしれないが、かつては日本の捕鯨船の基地になっていたこともある。米ソ軍縮会談が首都レイキャビックで開催され、重要な役割を果たした。

また、そこで生活する人々は、一人一人見ると、いわゆる大国といわれる国の人々よりもスケールが大きく、心のやさしい人が多い。

北大西洋のこの島国を訪れたのは1979年の夏のこと。ロンドンからジェット機で2時間半、夜中にケフラビック空港に着き、土地の人の車に便乗して街まで行った。そして半



月ほどアイスランド人の家庭で寝泊まりしながら街を歩き、人と話をし、自然を観た。この国を小さな島のように思っている人が多いが、実際には北海道の1.3倍もの広さがある。そこに二十数万の人々が暮らしている。平均寿命は、今日本が世界一。何年か前、日本が世界第2位のと看、この国が第1位であった。長寿の国である。

バイキングの子孫であり、現在の首相は女性。産業の

4分の3は干しグラを中心とした漁業に依存している。又、豊富なエネルギーを活用してのアルミニウム工業も行われている。

日常的にはアイスランド語が使われ、人口二十数万の国で出版活動も盛んである。アイスランド語で書かれた雑誌や単行本が出版されている。



スポーツも盛んであり、サッカーや柔道など、様々な「クラブ」がレイキャビック市内にある。クラブは日本のように企業や学校単位ではない。限られた人だけでなく、誰でも参加することができる。スポーツの後は

は、皆でサウナに入って再び汗をかく。柔道の稽古を見学させてもらった後に、私もアイスランドの人々と一緒にサウナに入った。サウナは大切なコミュニケーションの場であり、北欧の人々にとって、サウナは日常生活と切り離せないものになっている。

アイスランドは治安も良く、暮らしにも余裕が感じられた。一般に考えられているアイスランドのイメージとはかなり違って……。

アイスランドはかなり北に位置しているが、では私たちの住む鎌ケ谷は一体どの辺りに……。「鎌ケ谷を同じ緯度のままヨーロッパの方に移動させると、どの辺りになると思いますか」といったことを尋ねると、「さあ、よくわからないけれど……」と言いながら、ロンドン、パリ、ローマ、あるいはイギリス、フランスの比較的主な都市や国の名を答える人が多い。しかし、実際にはロンドンやパリは北海道のさらに北、サハリンのほぼ中央部に位置している。鎌ケ谷はというと、アルジェやチュニスなどのある辺り、つまりアフリカの北部に位置しているのである。



「国際交流」というと、とかく言葉だけが問題にされやすいが、その奥にきちんとしたものの見方の大切さもお忘れなく。歴史的な見方、それに「現在」をきちんとか据えるために、空間的な広がりをもった地理的な見方を、そして鎌ケ谷をよく知ることも。



私の国際交流の思い出

桜岡 孝治

昭和10年、東京工大で天津からの留学生、王任之君と席を並べた。

王君も私から日本語を吸収したが、私も彼から多くのことを学んだ。公費留学生として外務省から月60円支給されていた。多いと言うと、日清戦争後、清政府は3億両の賠償金を払い、利子計算をしても、中国の金であると答え、カルチャー・ショックを味わった。

世界情勢は彼から教えられることが多く、魯迅の小説も彼から文庫本を借りて読んだ。楽しい交流だった。西安事件（抗日戦線樹立）なども彼が解説し、不安を感じた。

蘆溝橋事件の翌日、登校しない王君を自由ヶ丘の下宿に訪ねると、帰国のため荷造りし、手伝わされた。

「帰国して日本軍と戦うよ」

「戦場で会ったら、どうする？」

「お互いに撃つよそう」

自由ヶ丘の駅で別れて半世紀、以後の消息は知らない。わが国際交流の悲しい思い出である。

交換留学生は、どうも欧米主流であるような不満がある。アジアの交流は、私の見果てぬ夢であろうか。



重慶人民賓館にて



鎌ヶ谷に住んで

潘 雲芬

日本に来て、もう5年になりました。主人は日本の商社に勤めています。私も現在、中国関係の仕事をしております。妻と母親の二役で時間がちょっときついです。でも、主人は中国語に精通していて、私の事もよく理解してくれています。ですから、いくら生活がきついても幸せと思っています。



私は日本という国、及び日本人という民族が好きです。日本は世界の経済先進国だけでなく、日本民族の伝統を守り、日本人の礼儀正しさにいつも感心します。

どこに行っても日本人は礼儀正しくて穏やかです。先進

的なものを求めると同時に、民族本来の伝統を保持し、それを継承することはとても素晴らしいと思います。

鎌ヶ谷市に引越して来てもうすぐ3年になります。周りは静かで、空気もきれいです。東京に近いから益々人口が増えてくる様です。鎌ヶ谷はこれから発展する若い町だと思いますので、これからこの市へ越してくる人達の為にも環境を守り、機能的な素晴らしい町づくりをしてもらいたいと思います。これからも一市民として自分の町を愛し、誇りある市にする為、皆様と一緒にがんばりたいと思います。



まず始めたい、人を知ろうとするところから

鴻池 淑子

私には大切な友達がいる。バングラデッシュからの出稼ぎ労働者である。かねがね、中学校で学ぶ英語の授業こそ殆どの子供達にとって初めて触れる外国文化であり、海外への窓口であるべきではないかと思いながら英語を教えてきた。だから、いろんな顔形、皮膚の色、そしていろんな言葉をしゃべる人達をどんどん教室に呼んでいる。



たどたどしい英語のその中に流れる熱意—何とか自分達の国が置かれている状況を理解してほしい。一つ一つ

の単語を必死に聞き取ろうとする子供たちの熱い視線。

「バングラデッシュを一番初めに独立国として認めてくれたのは日本でした」の言葉に自然に沸き上がった拍手。たった1時間のうちに彼らに対する子供たちの認識は、ただ『洪水と貧困に病める国』から『彼らが命をかけて守ってきた国。その国民は古代文明発祥の地として優れた文明を生み出した人達であり、今は貧しいながらも誇りを失わず、家族を支えるため必死に働いている人々の国』へと大きく変わったのである。もう子供たちは「じゃばゆきさん」とは言わない。ある生徒が言った、「知らないって恥ずかしいことだね」と。

交流の仕方にはいろいろあるが、私は英語を教える事を通して様々な人間に心を開いた子供たちを育てることで国際交流につなげていきたいと思っている。それには、『そこに住む人々』『目の前のその人』を知ろうとするところから出発したいものである。

部会活動とは

部会は、現在4部会（派遣、広報、研修、交流）あり、それぞれ部会長（理事から選出）と、部会への参加を希望した有志の会員によって構成されています。

部会の仕事は、担当分野の事業を企画・立案し、理事会や総会を経て、実施にあたることです。つまり、協会の事業は部会により推進されることになりますので、部会には、会員全体、さらには広く市民をも対象とした事業の展開が求められます。

また、こうした部会の活動は、ボランティアを基本とした、部会員の主体的かつ積極的な参加によって支えられています。それだけに部会員の役割は重要であり、その活躍が期待されています。



派遣部会長

荒井 茂行

国際理解とか世界平和という言葉はよく耳にしますが、その原点は人の心の在り方だと思います。

また、相手を思いやる気持ちから始まるものだと思います。そのためには、まず自分を冷静に見つめること、そして同時に広い視野を持ちたいものです。そのことが鎌ヶ谷市の国際交流協会の大きな目的でもあると思います。

この意味からも会報が果たす役割は、今後の当協会にとって大きなものになると思います。

広報部会長

加藤 記久枝



待ちに待った創刊号がついに発行できました。原稿を快く引き受けてくださった皆様や、ご多忙に

もかわらず、協力してくださった広報部会員の方々、それから事務局の方々のお陰です。

残念ながら、広報部会はほかの部会に比べて部員が少なく、会報を出すに当たっては随分苦労いたしました。どうか皆様のご協力をお願いしたいと思います。

ボランティアとして、ぜひ会報づくりにご参加ください。無から有を生み出す苦しみはありますが、その分出来上がったときの喜びは格別です。

カメラの好きな方、イラストや漫画の得意な方、特に歓迎いたします。お待ちしております。

忘年会 (A YEAR-END PARTY)



— FRIENDSHIP PARTY BY K. I. F. A —

DATE : SUNDAY DECEMBER 11, 1988

PM/ 1:00 — PM/ 4:00

PLACE : KAMAGAYA CITY HALL, DINING ROOM B1 FLOOR

MEMBER'S FEE ADULT ¥2,000
STUDENT ¥1,000

【交流パーティ(12月11日)に参加ご希望の方は、11月26日(土曜日)までに会費(大人¥2,000、高校生以下¥1,000)を添えて直接市役所内事務局まで、お申し込み下さい。】

交流部会

研修部会長

岡本 靖子



鎌ヶ谷市国際交流協会がうぶ声をあげて早や半年がたちました。各部会それぞれに活動を始めています。

研修部会も英会話3クラス、中国語2クラスの語学講座を現在開講中です。いずれのクラスも参加者が熱心で和やかな雰囲気ですが、皆様の意欲は大変なものです。

語学講座は今回の状況を参考にして、今後多くの方によりよい方法で参加していただけるように検討してまいりたいと思います。研修部会はこの語学講座の継続のための討議と、ボランティア通訳制度の実現のために、目下のところエネルギーを傾けております。

多彩な活動を推進するためにも、会員皆様の積極的な部会入会をお待ちしております。

交流部会長

藤谷 淳子



7月の臨時総会后、各部会とも着々と活動を進めている様子ですが、交流部会として会員相互の親

睦・交友を深める目的の交流プランがなかなか進まず頭を痛めています。ホームステイ制度などは今後おいおい取り組んでいくつもりです。民間の国際交流団体で活動した経験から、どの国の人と交流をするにしても大切なことは、人と人とが交流するのだということです。外国人との交流はもちろんですが、その前に鎌ヶ谷市において様々な分野で活躍されている方を知り、そして交流することも大切なことだと思います。

気負わないでやっていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

●部会員募集！広報部会&研修部会

広報部会と研修部会では、それぞれ部会員を募集しています。事業の企画、実施などにボランティアで活躍していただける方の参加をお待ちしています。

〔広報部会〕

広報部会は、「K.I.F.A. Plaza」の発行、講演会・シンポジウムの開催などを担当。

「K.I.F.A. Plaza」をより一層充実したものにするため、編集・制作を手伝ってくれる仲間を募集します。(編集、イラスト、レタリング、写真、ワープロ、翻訳のできる方大歓迎)

〔研修部会〕

研修部会は、語学研修講座の開催、通訳ボランティア制度の実施などを担当。

語学研修講座を今後さらに拡充していくため、講座の運営を担当してくれる仲間を募集します。

—連絡先—

鎌ケ谷市役所内 鎌ケ谷市国際交流協会事務局

TEL 45-1141 内線300

●シンボルマーク募集

鎌ケ谷市国際交流協会(K.I.F.A.)では、皆様に親しまれるシンボルマークを募集しています。

下記要領で多数の応募をお待ちしています。

- ・募集期間 昭和63年12月15日迄
- ・応募要領 ハガキ1枚につき1点、住所・氏名・年令・職業・TEL明記
- ・あて先 〒273-01
鎌ケ谷市初富928-744 市役所内
鎌ケ谷市国際交流協会事務局

入選者には記念品を差し上げます。

編集雑感

● 協会発足半年にして、やっと創刊号発行にこぎつきました。企画の段階では五里霧中、どうなることかと思いましたが、だんだん先が見えてくるにつれ、市役所へ向かうペダルを踏み足も軽やかになってきました。少ないスタッフでの編集会議はちょっぴり淋しく、皆様の参加を心からお待ちする次第です。(K. 加藤)

● スタッフの中では唯一独身してます。フレッシュ感覚で次号もがんばります。(M. 後関)

● 毎日を忙しい忙しいと四苦八苦しながら暮しているのに、又また知人の勧めに乗って入部してしまった広報、

●プラザへの投稿お願い

国際交流に関する、ご自分やご家族の体験談をまとめて、思い出の写真またはカット等と共に送って下さい。

- 楽しかった海外旅行の思い出
- 海外での文化、食生活等にまつわる話
- ホームステイ・ホームビジット等の体験談
- 将来の夢
- その他
- カット等

またK.I.F.A. Plazaに対してのご意見、ご要望がありましたら併せて送って下さい。

●会員アンケートより・意見・希望(抜粋)

- ・研修会を希望
- ・スポーツ交流事業をしてほしい
- ・在住外国人との幅広い交流を希望
- ・生きた外国語をマスターしたい。
- ・市内でも帰国子女が増えているので、子供達の交流の機会をぜひつくってほしい。
- ・できるだけ早く姉妹都市交流ができるように。
- ・長期間仕事で外国の家族と交流して、大変お世話になったので何かの形でお役に立ちたい。

●市内在住外国人の皆様へ

K.I.F.A.では、より多くの市民が多様な仲間との交流をするために会員を募っています。

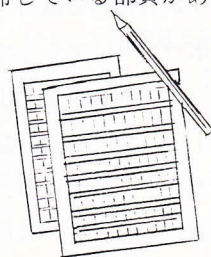
鎌ケ谷市にも近年、外国人居住者が増えています。同じ市民としておつき合いをしながら、お互いの生活の幅を広げたいと思います。

ご本人はもちろん、日常お見かけする外国人がいっしょにいましたらK.I.F.A.のことをお話して下さい。

籍だけ置いて作業は気楽にさせて貰えば良いし、等と自己弁護しながら安易に出向いた私の初日。何とたった二人がにこやかに私を迎えてくれた。しかも、そのうちの一人は事務局の方で、お手伝いをして下さっている状況のよう。“シマッタ”と内心後悔にとらわれたものの、これこそ本当の後の祭り。でも、欠席している部員があと数人居ると聞いて少しは安堵したものの、この先どうなることやら！

(J. 小山内)

● たのまれてカットを描きました。紙面に合ってるかな？私は花の高校生デース。(E. 神戸)



plaza

あ

Re

こ

Re

plaza